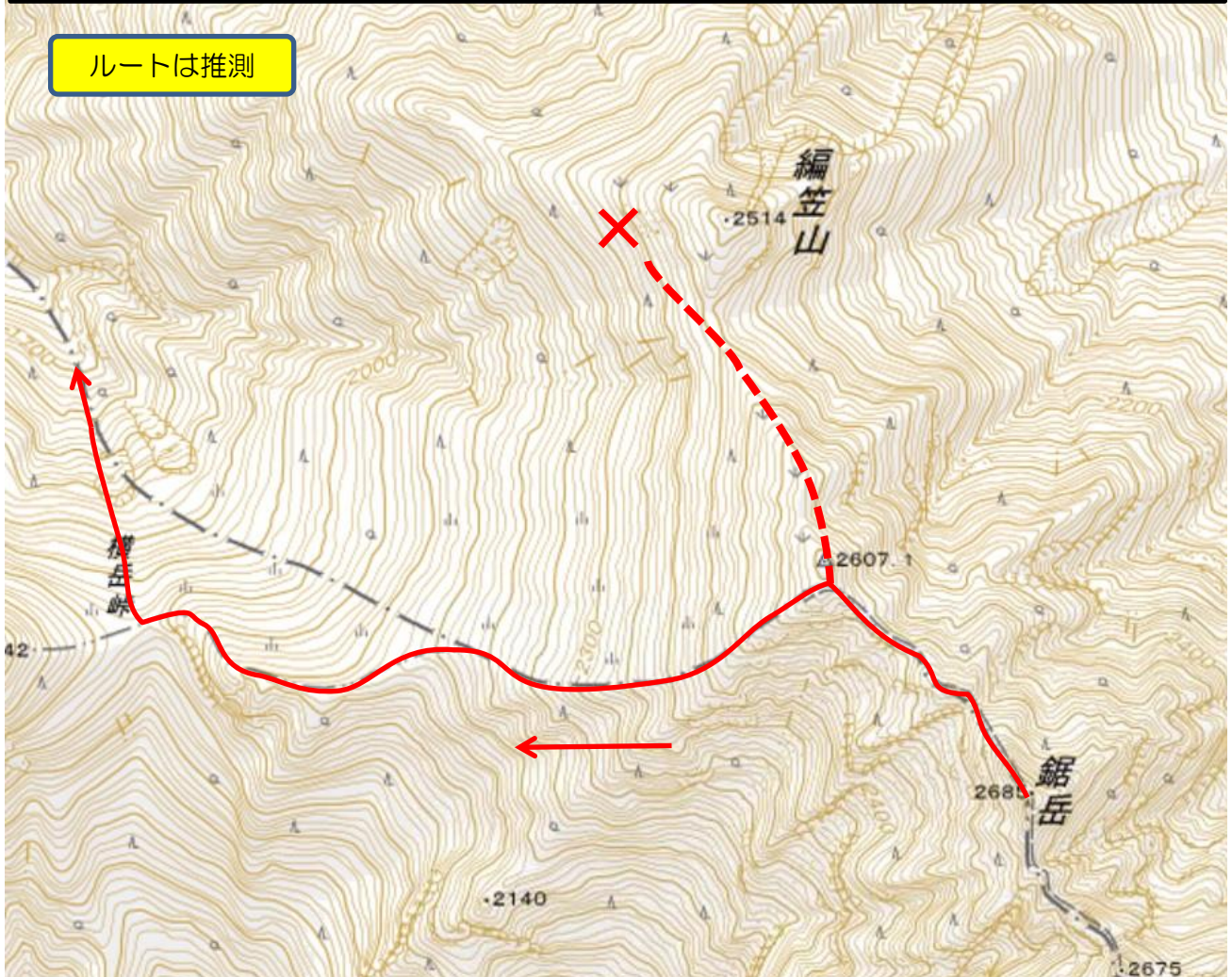


鋸岳遭難(2022年7月)

50歳男性。単独、日帰りの予定で鋸岳へ。途中で道に迷い救助要請。翌日、ヘリで救助された。

ルートは推測



解説

23日午後5時50分ごろ、北杜市白州町白須の鋸岳の山中で道に迷ったと、神奈川県在住の50代男性から119番があった。県警ヘリ「はやて」が現場に向かい、男性のものとみられるヘッドライトの光を確認したが、悪天候のため救助できなかった。24日、天候の回復を待って救助に向かう予定。(HP参照)

YAMAPでは点線になっているバリエーションルート。救助要請の時間で考えると日没間近の下りで焦っていたのだろう。ルートは2,607mピークで直角に西に向きを変えないといけないが、そのまま直進してしまったと思われる。そして道が無くなり、救助要請したのだろう。

道迷いのパターンとしては典型的な「ピークからの下りで道に迷う」パターンだ。先読みをしっかりとしないとピークで直角に曲がれず、直進してしまう。また、日没間近の焦りも道迷い事例のお約束の要素である。

単独行動は、慎重でなければならないし、地図アプリもぜひ利用してほしい。遭難しないためには、何を使っても私はよいと思っている。但し、地図アプリに頼りすぎるのは、地図を見る楽しさを減少させてしまう。ルートを先読みしてから地図アプリで答え合わせ。この方法で地図アプリを利用すると見違えるほど読図能力はアップする。地図は、色々な情報を提供してくれる最高のツールである。